

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

青少年育成に貢献した3人に功労賞

～青少年育成北秋田市民会議総会～

平成28年度青少年育成北秋田市民会議（千葉文吉会長）の総会が、6月28日に市民ふれあいプラザで開かれました。総会では青少年育成活動に貢献した中嶋修三さん（小ヶ田）、嶺脇勉さん（坊沢）、佐藤弘子さん（脇神）に功労賞が贈られました。

また、研修会では、鷹巣中学校の藤嶋浩子養護教諭が『今、子どもたちが抱える課題』と題して講演を行い、子どもが将来太い根を張り生き抜くために必要なこととして「愛情」「人と関わる力」「忍耐力」「夢や希望」「失敗の経験」の5つを挙げ、子どもの

気持ちを受け止めること、規則正しい生活が忍耐力を養うことなど、家庭教育の大切さを述べました。



▲総会終了後に行われた藤嶋浩子による講演

各団体が日頃の活動の成果を披露

～合川地区文化交流会・芸文祭～

合川地区文化交流会と合川芸文祭が、7月17日に合川公民館で開催され、地域で活動している団体などが活動の成果を発表しました。

文化交流会では、ケ・アロハ・フラ・オハナ・タカノスによるフラダンスや県指定無形民俗文化財になっている富根報徳番楽（能代市）、「笑顔」をテーマにした秋田北鷹高校書道部による書道パフォーマンスが披露され、詰め掛けた観客を魅了しました。

芸文祭では、合川を拠点に活動する団体が舞踊や民謡、演奏など日頃の練習の成果を披露したほか、

ロビーには俳句や華道の作品が展示され、訪れた人たちはそれぞれの力作に見入っていました。



▲合川地区（川井）から伝承された富根報徳番楽

煎茶道文化に学ぶおもてなしの心

～定期講座「和のおもてなし煎茶講座」～

定期講座「和のおもてなし煎茶講座」が、6月22日から市民ふれあいプラザでスタートし、受講生8人が参加しました。

はじめに、講師の佐藤美由起先生と受講生全員で道具の準備を行い、受講生からは「こういう道具があるのですか」と驚きの声が出るなど、一つ一つの道具に興味を示していました。

その後、普段の生活であり見ることのない作法で佐藤先生がお点前を披露し、煎茶道の奥深さを学びました。

次回からは実際にお点前を練習し、一人一人が和のおもてなしを体験します。



▲佐藤先生から煎茶道の作法を学ぶ受講生たち

学びの広場

平成28年度北秋田市文化祭 出演団体・作品作品の募集

■ 申込文化係 ☎62・6618

平成28年度北秋田市文化祭を次のとおり開催します。

開催にあたり、演示出演団体、展示作品を募集しますので、希望される方は、申込用紙に記入の上、お申し込みください。

【会場・期日】

演示部門 北秋田市文化会館

10月29日(土)～10月30日(日)

展示部門 森吉総合スポーツセンター

10月29日(土)～10月31日(月)

◇演示出演団体募集

内容 グループによる
伝統芸能・舞台芸能

時間 1グループ最長20分まで

申込締切 8月19日(金)

※日程、時間帯については申込時に希望をとります。

◇展示作品募集

内容 市在住の個人
及びグループの作品

出品制限 希望のスペースや出品
数により調整します

申込締切 9月2日(金)

◇申込方法(両部門共通)

生涯学習課文化係又は各地区公民館に置いてある申込書に記入の上、お申し込みください。

おさるべ元気くらぶ

■ 申込事務局 長岐賢一

☎090・6101・8906

長岐邸お盆の特別公開

長岐家宗家に江戸時代より伝わる掛軸展を同時開催します。ポラン

ティアガイドがご案内します。

期日 8月13日(土)～15日(月)

時間 10時～15時

会場 北秋田市七日市「長岐邸」

料金 200円(資料代)

伊勢堂岱遺跡「ジュニアポラン ティアガイド」のご案内

■ 申込文化係 ☎62・6618

伊勢堂岱縄文館と遺跡現地をご案内します。(ガイド料は無料)

期間 8月6日(土)～21日(日)

※月曜日は縄文館の休館日です。

時間 9時～16時頃まで

※都合により案内ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

森吉公民館公開講座

■ 申込 森吉公民館 ☎72・3259

「八郎太郎と辰子姫を追いかけて」

平安の十和田大噴火との関連

日時 8月31日(水) 13時30分～15時

会場 森吉コミュニティセンター

講師 五十嵐 経さん
(大館市立真中公民館長)

ふるさとの文化財

「縄文時代編」

○首なし土偶

(藤株遺跡出土)

怖い話は夏の風物詩ですが、今回は藤株遺跡で出土したある土偶についてのお話です。

写真1がその土偶です。両手・両足は欠け、残っています。体の表面には植物の茎の断面を押し付け、衣服や装飾あるいは入墨などを表現したような模様が付けられています。乳房と膨らんだお腹から妊娠した女性を表現したものと思われまます。

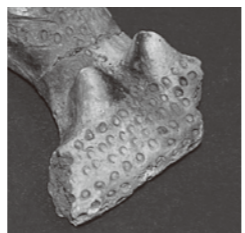
この土偶は、今まで「ふるさとの文化財」で紹介した土偶とは明らかに異なっている点があり、それは、首(頭)がないこと。壊れてなくなったのではなく、初めから造られていないのです。



▶首なし土偶(写真1)

9

写真2は土偶の左肩側から写したものです。首が付いている部分に、壊れたり剥がれたような跡がないことがわかります。土偶や岩偶などの首のない人形(首なし土偶)の例は全国にあります。北秋田市で見つかっている土偶の中では唯一の例です。



▶(写真2)

ところで、藤株遺跡の発掘調査で、お墓が見つかり、人骨が出土しました。その位置や状態から仰向けに安置した遺体を火葬し、そのままそこに埋葬したようですが、本来残りやすい歯や頭蓋骨の破片などが1点も見つからず、火葬時に頭部がなかった可能性が考えられています。

首のない土偶、首のない遺体：この二つが直接関連しているのかは全く不明ですが、いずれも特殊な例であり、縄文時代の風習・習俗の複雑な側面がうかがえます。現在、首なし土偶は伊勢堂岱縄文館に展示中です。皆様の来館を首を長くして待っています。▽紹介者/北秋田市教育委員会生涯学習課文化係